

# 兵庫の学校給食だより

2017.3  
No.116



公益財団法人兵庫県体育協会 兵庫県学校給食・食育支援センター

〒673-1421 兵庫県加東市山国2007

<http://www.hyogo-kyushoku.jp/>

検索



**【給食委員会】**  
三日月小の健康を守る食レンジャー

## 佐用町立三日月小学校の食育取組

本校は、自然に囲まれ、校区には、ぶどうを始め特産物も多く、食育を推進するには恵まれた環境にあります。本年度は、「食の大切さを学び、豊かな食生活を実践する児童の育成をめざして～人・自然・ふるさとから学ぶ みかづき子～」を研究テーマとして、家庭や地域と連携を図りながら、実践を積み重ねました。

1・2年生は給食センターを見学し、調理員にお話を聞き、感謝して給食を食べる心が育ちました。4年生では、味噌を使った昔風のおやつ作りを地域の方々に教えていただきました。6年生が考えた地産地消、旬の食材を使った「さよこ献立」は、給食の献立に取り入れられました。給食委員会は、取組の一環として、「三日月小の健康を守る食レンジャー」の劇を行いました。

実践を通して、「食」に関する知識や興味関心が高まり、学校での学びを生活の中で実践しようとする児童が増えてきました。

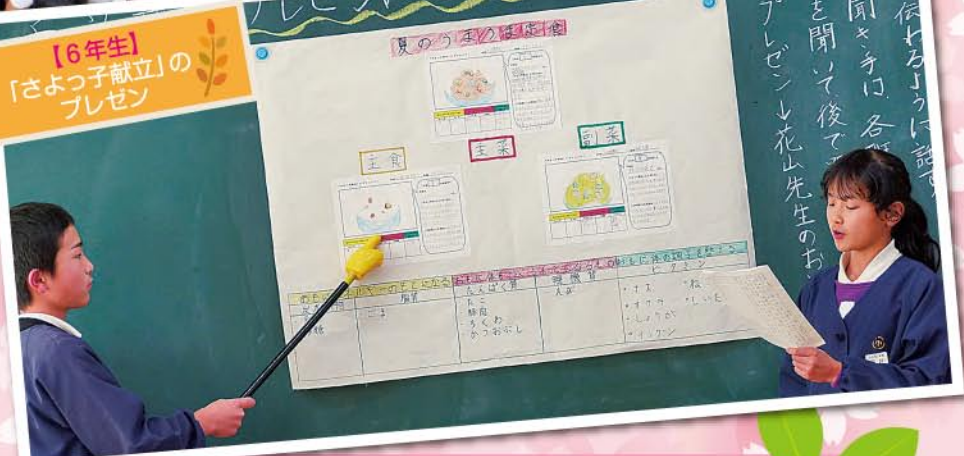
今後も家庭や地域とのつながりを大切にしながら、実践を続けていきます。



**【1年生】**  
大きな大きなスバテラ



**【4年生】**  
味噌を使った昔風のおやつ作り



**【6年生】**  
「さよこ献立」のプレゼン

## もくじ

- 佐用町立三日月小学校の食育取組 ..... P1
- 平成28年度 学校給食優良学校等兵庫県教育長表彰  
学校給食功労者兵庫県教育長表彰 ..... P2 P3
- 「地域の特色を生かした食育推進事業」の紹介... P4 P5
- わくわく楽しいクッキング ..... P6
- 市から町から (たつの市中央学校給食センター) ..... P7
- 平成28年度 学校給食従事職員 表彰者名簿 ..... P8
- 平成29年度 センター食育支援等事業年間行事予定表

関係者にご回覧ください

**佐用町給食センターを  
見学した1年生の感想**

大きなスバテラをもちました。大きなスバテラは、おしるをまぜるためにありました。スバテラの長さは、だいたいメートルくらいでした。三人でもつと、かるかったです。ひとりでもつていたので、おもてました。

大きなかまの下に、くるくるまわすのがありました。それをまわすと、大きなかまがなめになりました。おしるをいれやすくなります。しゃくは、先におなへみたいに大きいものがついています。

スバテラをつかうときは、大きなおなへのざいりようをまぜるときです。まぜるときは、力がいります。

**調理員のお話を聞いた1年生の感想**

しゃくをもつたらおもたかったので、たいへんだとわかりました。これからは、ごはんをのこさずに、金ぴかにたべたいと思います。





平成  
28年度

## 学校給食優良学校等 兵庫県教育長表彰

## 加古川市立東神吉小学校

## 1. はじめに

本校は自然豊かな地域にあり、地域のご協力を得ながら、農業体験や自然体験学習を行ってきました。「食の学びを大切にして、健やかな心と身体をはぐくむ～食のもつ多様な側面の気づきを通して～」を研究主題に設定し、地域や家庭、関係機関と連携を図りながら、学校教育活動全体で食育に取り組んでいます。

## 2. 取組内容

## (1) 教科等における食育の視点

各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等に食育の視点を位置づけて取り組んできました。収穫した野菜で作ったジャムの人気投票をする「ジャム-1(ワン)グランプリ」や、旬の野菜のひみつを栄養教諭と一緒に探る「野菜の元気いただきます」などの、体験を大切にした学習を実践しています。

## (2) 健やかな心をはぐくむ給食指導

身体だけでなく、心も健康な児童の育成を目指し、招待給食や交流給食などを通して「共食」の楽しさを実感できるようにしました。また、給食調理員にインタビューをすることで、児童は、安全でおいしい給食を作っている調理員の仕事を知り、感謝の気持ちをもつことができるようになりました。

## 3. 終わりに

食育に取り組んで行く中で、特産物を学んだり、地域の方々と交流をしたりして、ふるさとへの愛着を深めることができました。心と身体をはぐくむ「食」を大切にす指導を、今後も推進していきたいと思ひます。



## 姫路市立大津小学校

## 1. はじめに

「いただきます」4時間目が終わるのを待ちかねて給食の準備をいそいそと始める子どもたち。給食が大好きな子どもたちが、将来、健康で生き生きと生活できるよう本校では「食育」を学校全体で取り組んでいます。

## 2. 取組内容

## ◇教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間・外国語活動に食育の視点

食育は「生きる力」の基本。しかし、学校教育の教科等の中に「食育」領域はありません。そこで、食育の視点を取り入れた授業を研究し実践しました。例えば2年生では生活科でピーマンやナス、ミニトマトなどの夏野菜を育て、それを使って、ピザパーティーを楽しみました。3年生の総合的な学習では自分で米を作り、「命をいただく」感謝の心を学びました。また、外国語活動でのオリジナルメニューづくりなど、教科等の特性を生かしながら食育の視点を取り入れました。また、食育の様々な場面で栄養教諭・養護教諭とのTTも充実しました。

## ◇残食ゼロへ 楽しい食卓

給食中に栄養教諭が食の大切さやマナーなどを指導したり、給食委員会が作った替え歌を各教室に歌いに行ったりと給食はとても楽しい時間です。明るい照明、きれいなテーブルやカーテン等ランチルームを利用するときは特に楽しみにしています。

## 3. 終わりに

本来は家庭が食育の場です。今後も連携を深め、家庭・地域・学校が一体となって子どもたちに生きる力を育む食育を推進していきたいと考えています。





## 養父市立八鹿小学校

### 1. はじめに

わたしたちのふるさと八鹿には誇れる食材や特産物が多くあります。2015年7月ミラノ国際博覧会でPRされた朝倉山椒をはじめ、浅黄豆、八鹿豚、赤米などです。これらの食材を通して身近な食を見直し、素晴らしさを知ろうと「八鹿の食を学ぶ」取組をしています。

### 2. 取組内容

(1) 6年生の家庭科で「八鹿小学校のリクエスト給食を考えよう」の授業を給食センターの栄養教諭が行いました。栄養バランスなどの献立作成のポイントを教え、1班1献立を考えました。各班のアピールポイントなどをプレゼンテーションソフトを使って作成。PTA教育講演会で発表し、児童・保護者・教師など参加者全員の投票でリクエスト献立を決定しました。決定した献立は、実際に市内小中学校の給食で提供され、給食について考えたり、センターの取組を伝えたりするよい機会となりました。

(2) 他にも、古代米である赤米を使ってお餅つき、浅黄豆を使った豆腐や納豆作り、サツマイモを使ったイモきんとん作り、八鹿豚を使った調理実習、朝倉山椒を使った献立作りなど地元食材や自分たちで栽培した食材を取り入れた調理に取り組みました。

### 3. 終わりに

子どものころの食事は人間形成にも大きく関わると言われています。今後も、給食センターや地域と連携し、ふるさとの食を大切にして、自分自身の健康管理ができる子どもたちを育てていきたいと考えています。



おめでとうございます!!

平成  
28年度

## 学校給食功労者 兵庫県教育長表彰

明石市立沢池小学校

主幹教諭(栄養担当) 飯田 頼子  
【前列中央】



この度は、栄えある『兵庫県教育長表彰』をいただき身に余る光栄に感じております。受賞にあたり、これまでどれほど多くの方に支えられてきたのかと感謝せずにはいられません。本当にありがとうございました。

本校では「食べ物で体を作り、食べ方で心を作る」という目標を立て、教職員・調理員が連携し、給食管理・食育に取り組んでまいりました。今では残菜もほとんどなくなり、「また作ってね!」の笑顔に充実を感じる日々です。今後も、家庭・地域や関係機関と協力し、子どもたちの未来につなぐ食育の実践を目指し努力してまいりたいと思います。

兵庫県立東はりま特別支援学校

栄養教諭 岡本 智恵子  
【前列中央】



この度、『兵庫県教育長表彰』をいただき、感謝にたえません。このような表彰を受けられたのは、個人の力によるものではなく、よりよい給食指導、食育活動をとご指導頂いた先生方、調理員の皆さん、そして、給食が健全な体作りのための『生きた教材』となるよう、日々共に研鑽している栄養教諭の皆さんのおかげと感謝しております。

これからも地域・保護者・教職員と連携した食育に励んでいきたいと思っております。ありがとうございました。

兵庫県立和田山特別支援学校

栄養教諭 長谷川 久江



この度、『兵庫県教育長表彰』の栄に浴し、改めて、長い間支えて下さいました皆様に感謝を申し上げます。振り返れば、平坦な道ばかりではありませんでした。駆け出しの頃は、壁にぶつかる度に頭を抱えたものです。しかし、切磋琢磨し合えた仲間のおかげで乗り越えることができました。まさに、チームで頂いた栄誉だと感じています。料理にたとえるなら、彩り野菜をふんだんに使ったスープといったところでしょうか。この滋味たっぷりの味を心の支えにして、これからも邁進していきたいと思っております。

篠山市立城東小学校

栄養教諭 平野 恵子



この度、『兵庫県教育長表彰』を受賞しました。学校栄養職員から栄養教諭となって10年、食育を多くの方に知ってもらいたい、子どもの健康作りを目指して実践していきたいと願いながら歩んできました。あらゆる学校生活の場面で食育を意識し、共に協力しながら授業作りに取り組んでくださった学校教職員の皆様、篠山の特色を生かした「生きた教材」となる給食作りを目指して日々取り組んでくださった給食センター職員の皆様、栄養教諭の仲間たちのおかげと感謝しております。ありがとうございました。



# 平成28年度 地域の特色を生かした食育推進事業

## 【学校食育実践研究大会（播磨西地区同時開催）】

佐用町立三日月小学校

- ①「食の大切さを学び、豊かな食生活を実践する児童の育成をめざして」～人・自然・ふるさとから学ぶみかづきっ子～
- ②「食」に関する関心や知識、判断力を高め、豊かな食生活を実践する意欲を育てる
- ③平成 28 年 11 月 25 日◎
- 講師：上越教育大学大学院 教授 野口 孝則 氏
- ④学級活動、道徳、総合、家庭科などの教科で、全学級で公開授業を行った。
- ⑤家庭や地域とのつながりを大切にしながら、実践を継続していきたい。



1

- ①研究テーマ
- ②重点目標
- ③研究内容公開日・講師名
- ④実践例
- ⑤今後の取組を継続するにあたって



姫路市立城陽小学校

- ①「自分の身体を大切に感じ 体を育む子の育成」～食を楽しむ、学び、生かすことのできる子ども～
- ②食育に関する意識を高め、知識を学び、実践できる子を育てる
- ③平成 28 年 10 月 21 日◎
- 講師：日本料理アカデミー地域食育事業 委員会 委員長 山ばな平八茶屋 代表取締役社長 園部 晋吾 氏
- ④国語・理科等各教科・領域のもつ本来の教育内容から離れず、地域の方々の協力を得ながら食育の視点を授業の中に取り入れた。
- ⑤児童の実態を把握して、食育カリキュラムを適宜見直ししていく必要性と教職員や保護者が児童にとって食育が大切であるという認識を共有し、地域と協働して食育の推進に取り組む。



2

## 学校食育実践研究大会（播磨東地区）

- 日時／平成29年1月12日◎ 13:30～16:00
- 場所／滝野複合施設会場（滝野図書館内）
- 内容／解説「播磨東地区の食育について」  
実践発表（加古川市立西神吉小学校、多可町立松井小学校）  
講演「稲美町立稲美中学校スーパー食育スクールの取組」
- 講師／稲美町立稲美中学校 栄養教諭 大西 徳子 氏  
// 主幹教諭 藤田 真由美 氏

まとめ 家庭・地域等と連携した取組や学校教育活動全体を通じた食育について、地区内2校の実践発表、稲美町立稲美中学校職員による講演「稲美町立稲美中学校 スーパー食育スクールの取組」を聞き、食育推進のための具体的な取組について理解を深めた。今後も内容や方法を工夫し、指導者の資質向上及び地区内での食育推進を図りたい。



1

## 【学校食育実践研究大会（阪神地区同時開催）】

西宮市立瓦木中学校

- ①「明日を創る力・生きる力を育てる食育」～主体的な食生活を創造できる生徒の育成～
- ②将来にわたる食生活を自立・自律的に豊かに過ごせる力を育てる
- ③平成 29 年 2 月 20 日◎
- 特別講演 神戸女子短期大学 食物栄養学科 教授 平野 直美 氏
- ④地産地消、給食他6テーマ別のグループ研究・発表（1年生総合）
- ⑤中学校の特色を生かし、生徒が主体的に動ける場面作り。生徒のためだけでなく、大人も一緒に学び楽しむ。



3

高砂市立中筋小学校

- ①「食を通して育む生きる力 むすぶ人の絆」～なかつじおむすび大作戦～
- ②「米」の良さや大切さがわかり、みんなと調理して楽しく食べる子
- ③平成 28 年 11 月 22 日◎
- 講師：立命館大学総合科学技術研究機構 客員研究員 海崎 彩 氏
- ④4年生は稲を育て、収穫・脱穀などをして白米にし、おむすび作りを行った。
- ⑤今年度の取組の中から、効果的なものを精選し継続する。



4

## 【学校食育実践研究大会（淡路地区同時開催）】

洲本市立中川原小学校

- ①「食」の尊さを知り、地域の自然や人とのつながりの中でよりよく生きるなかっ子の育成」～学ぼう・食べよう・大好き中川原～
- ②中川原の生産物について知り、地域のさまざまな恵みに感謝し、郷土を愛し主体的に食に関わろうとする児童の育成
- ③平成 28 年 11 月 25 日◎
- 講師：神戸大学大学院 農学研究科 特命助教 山下 陽子 氏
- ③味噌づくり等数多くの体験活動を地域と連携して進めた。
- ④地域や保護者との連携をさらに強化することや児童が主体的に食と関われるように教師も食に関する研修を続けていくことが必要である。



5

加東市立滝野東小学校

- ①「豊かな人間性を培い、生きる力を身に付ける食育の推進」～食の大切さを学び、楽しくかしく食べよう～
- ②食事の重要性、喜び、楽しさの理解や望ましい栄養や摂り方を理解し、自ら管理していく能力を身につけたり、食物を大切にすることを育む。
- ③平成 28 年 10 月 20 日◎ 13:30～
- 「教科学習における食に関する指導」～おいしい たのしいヘルシー～
- 講師：大阪市立大学大学院 教授 春木 敏 氏
- ④加東市の旬の食材を使つてのPTAクッキング教室、6年では家族へのお弁当づくり、3年では栽培した大豆を使つての豆腐づくり
- ⑤食育を通じて広がったネットワークを大切にしていよいよ積極的に食育を推進していく。



6

朝来市立梁瀬小学校

- ①「ふるさとを愛し、いのちを育む食育」
- ②より良い食習慣を身につけ、健康な心と体を育てる。
- ③平成 29 年 1 月 27 日◎
- 講師：兵庫大学 健康科学部 非常勤講師 宮田 さと子 氏
- ④どの学年も野菜を育てることを通して、それぞれ「旬の食べ物」「マナー」「姿を変える食べ物」「食事のバランス」「バイキング給食」「ふるさとの未来を考える」等の取組を行った。
- ⑤より一層、地域・保護者とのつながりを深める食育。



7

県立氷上特別支援学校

- ①「食べる力は育つ力 正しい食生活は生きる力」
- ②「食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する」
- ③平成 28 年 9 月 15 日◎
- ④各学部で授業実践を行っており、中学部では、授業・行事の繋がりを活かした食育をテーマに取り組み、体験チャレンジ活動の際には美術で作ったお皿に、作業（農園）で育てた野菜を盛りつけて皆でおいしく、楽しく食べた。
- ⑤食育全体計画を見直し、児童生徒の実態に即した目標設定をして各教科と関連づけながらの指導。



8

## 学校食育実践研究大会（但馬地区）

- 日時／平成28年10月31日◎ 13:20～16:30
- 場所／県立但馬長寿の郷 郷ホール
- 内容／第3次食育推進基本計画についての説明  
グループ別協議（実践交流）  
「各学校における食育の取組の実際」  
講義「第3次食育推進基本計画を踏まえた食育の実践と評価について」
- 講師／神戸大学 名誉教授 保田 茂 氏



2

まとめ 但馬地区では、食育実践校の取組や、学識経験者の講演等により、食育に関する知識を得る機会があったが、食育の担当者同士が直接自校の取組について意見交流する機会が少なかったため、実践交流の場を設定した。  
グループ協議（実践交流）では、家庭・地域との連携について話し合ったところが多く、家庭との連携では、お弁当の日に振り返りシートを活用したり、食育だよりでマナーや栄養について啓発したりする取組が紹介された。地域との連携では、地域の方をゲストティーチャーに招いてお話を聞いたり、地域の特産品を生かした巻き寿司づくりや、古代米を育てて食べる環境体験学習と食育の取組を紹介したりと、各学校の取組について情報交換すると共に、より効果的に食育を推進するためのアイデアを得ることができた。今後も実践交流等、食育担当者を中心とした主体的な学びの場としていきたい。

## 【学校食育実践研究大会（丹波地区同時開催）】

篠山市立大山小学校

- ①「知ろう！食べよう！伝えよう！心と体」～地域の素材を生かした地産地消の食育の探求～
- ②地域と連携しながら、ふるさとの食文化を知り、ふるさとを愛する心を育てる
- ③平成 28 年 12 月 2 日◎
- 講師：大阪商業大学 経済学科 専任講師 中塚 華奈 氏
- ④「あもちいもはいいもんだ」をテーマに、4年生が、地域の伝統野菜「天内芋（あもちいも）（里芋）」の栽培・調理・キャラクター作り等による発信をした。
- ⑤天内芋については毎年4年生の地域素材として継承するとともに、引き続き地域の方と連携を深めながら、大山スイカやとふめし等、地域の食素材を食育に取り入れる。



9

三田市立弥生小学校

- ①「仲間とかかわり合いながら よりよく生きようとする子ども」～学びが見える学習をめざして～
- ②自分の食を通して地域や社会とのつながりを考える
- ③平成 28 年 12 月 2 日◎
- 講師：兵庫教育大学大学院 教授 松本 伸示 氏
- ④6年生では体温、学力との関係、3つの働きを食品群と関連させ、栄養バランスのとれた献立作りで朝食の大切さを実感できた。
- ⑤地域との連携は各学年の活動内容を整理し継続する。ランチサロンは食しながらの交流を深める。「ちよこちよこ食育」で他教科との学習に食育の目標をリンクし推進する。



10

### 食育講演会

1 神戸

小・中・特別支援学校の連携と食育について  
武庫川女子大学 専任講師 藤本 勇二 氏  
兵庫県民会館／8月18日◎

2 淡路

小・中・特別支援学校の連携と食育について  
神戸女子大学 准教授 坂元 美子 氏  
淡路文化会館／8月23◎

3 但馬

小・中・特別支援学校の連携と食育について  
神戸女子大学 准教授 坂元 美子 氏  
篠山市民センター／8月26◎



# 食で季節を感じる!!

## —かまどでご飯—

芦屋市立精道小学校 主幹教諭(栄養担当) 奥 瑞恵

三学期になると3年生が社会科で「昔の暮らし」について学習します。昔の道具やその使い方を調べたり、昔の道具を実際を使って現在の道具と比べたりもします。炭をおこし七輪でお餅を焼く体験をすることもありました。今年度の体験活動は、兵庫県学校給食・食育支援センターが開催する出前講座「ごはん塾」において、かまどで炊飯をしました。かまどでご飯を炊く作業の中で、様々な貴重な経験をすることができました。



移動式かまど、羽釜(はがま)、火吹き竹、薪、鉈(なた)、軍手、火つけ用新聞紙、米、炊けたご飯を食べる容器、防火用水など用意万端、学校の準備は必要ありません。



移動式かまど



6升炊きの羽釜



鉈を使って薪割り

始めチヨロチヨロ、中パツパ、ブツブツいうころ火を引いて、ひとにぎりのワラ燃やし、赤子泣いてもふたとるな!!



火吹き竹で空気を送り火を大きくする



炎をみるの初めて!



むらして、炊き上がり!!

ご飯のいいにおい

おいしそうおかわりしょ〜♡



兵庫県立考古博物館の協力により、古代火おこし体験

平成29年度「ごはん塾」の申し込みは…  
「兵庫県学校給食・食育支援センター」のホームページよりダウンロードしてください。

3年生献立



なすの涼拌

鮭の塩焼き

早生みかん

みそ汁

かまどのご飯+手作りふりかけ



市から町から

紹介



## たつの市中央学校給食センター

平成 28 年 8 月 28 日  
竣工式典を開催しました。



当センターは、これまで給食センター方式、選択制デリバリー方式、家庭弁当が混在していた中学校給食を統一するため建設されました。また、従前の新宮学校給食センター、神岡小学校給食室の老朽化が著しいことから、両施設の補完も兼ねています。約11,000㎡の敷地に鉄骨造り平屋建て（延床面積約3,300㎡）で一日最大4,000食の調理能力を備えています。

## 【見学通路】

センターの見学は、従来方式の2階からではなく、1階にT字の通路を設置し、見学者が間近で調理工程を見ることができるようになっています。見学者からは「近くで調理がよく見えて良かった」と好評を得ています。



## 【調理室】

調理業務は民間業者へ委託しており総勢38名が調理に従事しています。調理室は学校給食衛生管理基準に基づくレイアウトでフルドライシステムや作業環境に配慮した空調管理、最新の厨房機器（真空冷却機・スチームコンベクションオープン）を採用し、安全で安心な給食の提供に努めています。



## 東日本大震災復興応援給食

たつの市では震災直後から宮城県南三陸町へ市民によるボランティア活動や市職員派遣による災害支援を続けています。3月7日には東北地方の震災復興を支援するため、震災復興応援給食を実施し「食べる応援」をしました。

（献立） 鮭フライ（宮城県南三陸町産）  
ひき菜炒り（福島県の郷土料理）  
芋の子汁（岩手県の郷土料理）



徹底した衛生管理と最新鋭の調理機器を備え、たつの市の未来を担う子どもたちの健康と健やかな成長に向けて、安全・安心でおいしい学校給食を届けていきます。



## 平成28年度 学校給食従事職員 表彰者名簿

学校給食業務に永年にわたり功労された方々に、兵庫県学校給食・食育支援センター所長から感謝状をお贈りします。

市町名等	氏名	市町名等	氏名	市町名等	氏名	市町名等	氏名
神戸市	竹久哲哉	西宮市	長浜美幸	宝塚市	梅本奈美	姫路市	北川知恵子
	越智千春		平瀬紀子		田村百合		森貴子
	三宅麻未		平田則子		森由紀子	福崎町	増田利広
	為山朋代		平山美香		村上千草		羽岡弘美
	柴田薫		藤田浩子		上床晴美	たつの市	山本幸子
	脇野和久		森村佳奈子		流郷穂子		岩倉ひとみ
	小山香織		門戸京子		寺栖敦子		渋谷聡美
	楠本正一		安田真理子		田口和代		山田裕香
	大山寿江		畠田志圭子		稲井里津子		安藤佳子
	山間やよい		石田陽子		隠岐みどり		西田千鈴
	志方知香子		佐々木照美		上田祐子	相生市	小原里美
	松本幸代		大野弘江		重本美由紀		森田睦子
	藤原和宏		米田裕美		新谷和枝	赤穂市	吉栖克昌
	堀畑千智		木村美寿		中谷美穂		中野裕子
今橋学	石橋美子	小脇和代	穴粟市	田路享子			
榎田由利子	成川奈緒美	日高貴善		平木美和			
西宮市	藤田佳余子	芦屋市	古藪美代子	明石市	西海善幸	豊岡市	中西由美
	石川伊津子		戸田真有美		西垣匡		木下真美
	大橋歩	伊丹市	権丈清美	加古川市	林正子	新温泉町	伊賀浩郁
	小谷美香子		平井千佳子		梶本和子		小西まゆみ
	馬場明子		田端みはる		垣崎ゆり子	丹波市	山内素子
	川口千佳	宝塚市	藤井享子	小野市	小林淳子		廣瀬あや
	寺本智子		堤明美		高見美雪	南あわじ市	初田頼昭
	長澤芳	東真智子	松尾美由紀	姫路市	岡本久樹		

## 平成29年度 センター食育支援等事業年間行事予定表

行	事	会場等	開催予定	参加者等
体験学習	「魚講習会」	各学校	年38回	児童・生徒、教諭等
	「竹輪を作ろう!講習会」	各学校	年15回	児童・生徒、教諭等
	「手打ちうどん講習会」	各学校	年7回	児童・生徒、教諭等
	「ごはん塾」	各学校	年6回	児童・生徒、教諭、保護者
	「パン作り教室」	各学校	年2回	児童
	県産品を利用した親子料理教室	県下	6団体	児童・生徒とその保護者
	米作り農業体験～田植え・稲刈りから収穫・かまど炊飯まで～	篠山市他	年3回	児童とその保護者
	地引き網漁業体験	洲本市	年1回	児童とその保護者
	体育協会管理施設との連携による食育学習会	県立海洋体育館、県立武道館	年2回	施設利用者
	普及・品質向上	学校給食用コッペパン実技講習会	未定	年1回
学校給食用コッペパン品質審査会		学校給食・食育支援センター	10/13	製パン委託工場
学校給食用製パン・炊飯委託工場代表者研究会		未定	年1回	製パン・炊飯委託工場代表者
学校給食用製パン・炊飯委託工場従事者研究会		未定	年2回	製パン・炊飯委託工場従事者
学校給食用物資研究会(展示会)		兵庫県民会館、姫路市文化センター	7/24、8/3	学校給食関係者
肢体不自由教育給食関係者調理・摂食支援講習会		学校給食・食育支援センター	年1回	特別支援学校の栄養教諭・調理従事者等
衛生管理		学校給食衛生管理推進研修会	県下5会場	年5回
	学校給食用製パン・炊飯委託工場衛生管理審査・指導委託	製パン・炊飯委託工場	年8回	製パン・炊飯委託工場
	学校給食関係者衛生管理等・調理講習会	学校給食・食育支援センター他	年2回	栄養教諭・調理従事者等
研修会・講習会	食育講演会	県下3会場	年3回	学校管理職・栄養教諭・食育担当教諭等
	学校食育実践研究大会	県下6会場	年6回	学校管理職・栄養教諭等
	食育推進校研究発表会等	県下9会場	年9回	学校関係者、保護者、地域住民等
	栄養教諭実務研究会	未定	11月	栄養教諭・学校栄養職員等
	食に関する指導研修会	未定	年2回	経験の浅い栄養教諭
	共同調理場所長研究会	未定	8月	共同調理場所長等
委員会等	魚講座指導者養成講習会	学校給食・食育支援センター	年1回	教諭・栄養教諭
	創立70周年記念事業	—	—	学校給食関係者等
	学校給食推進委員会	未定	年2回	学校給食推進委員
	// 食育推進部会	未定	年2回	
	// 物資部会	兵庫県民会館 他	年3回	
	// 食品研究部会	学校給食・食育支援センター他	年9回	
地場産物安定供給検討委員会	未定	年2回	地場産物安定供給検討委員	
兵庫の学校給食だより編集委員会	学校給食・食育支援センター	年3回	兵庫の学校給食だより編集委員	

